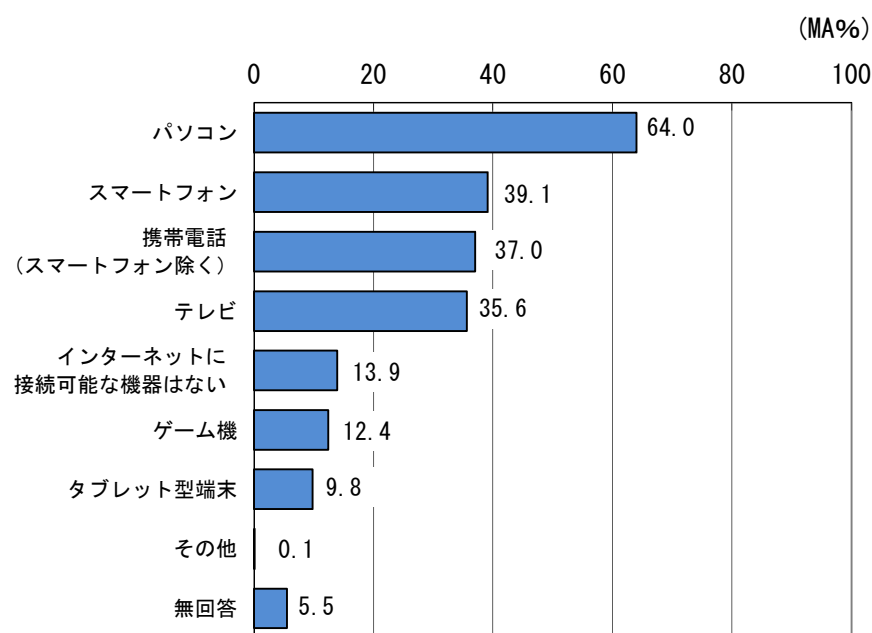


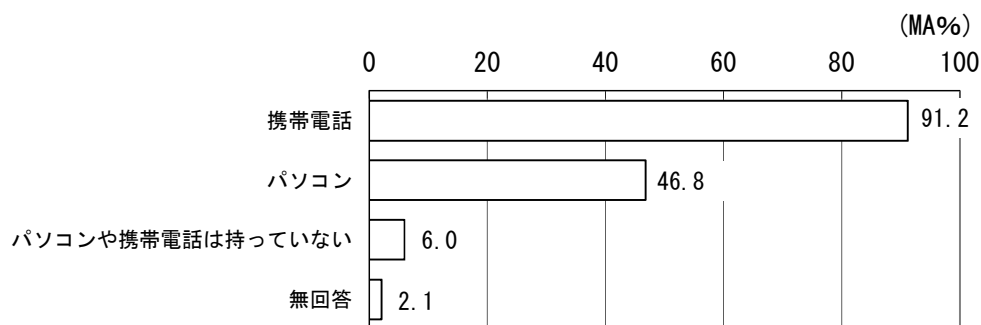
3. インターネット等を利用した行政サービスについて

問 18. あなたの世帯では、インターネットに接続できる機器(パソコンやスマートフォン、タブレット型端末等)がありますか？(〇はいくつでも)

図 3-1 インターネット接続機器の所有状況(複数回答)



【平成 25 年度調査 回答数=1,487】

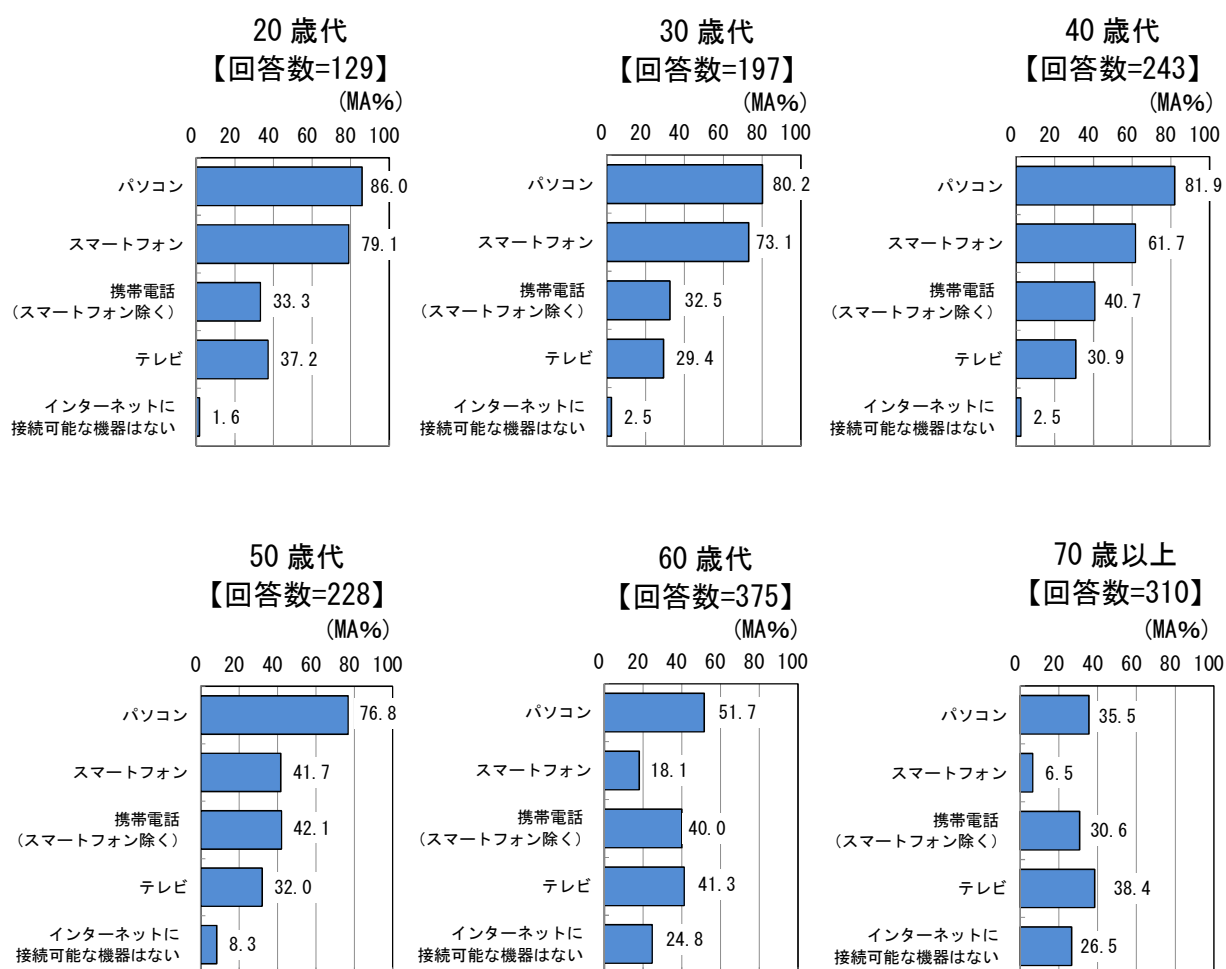


【平成 23 年度調査 回答数=1,540】

インターネット接続機器の所有状況をたずねた。「パソコン」が 64.0%と最も高く、以下「スマートフォン」(39.1%)、「携帯電話(スマートフォン除く)」(37.0%)、「テレビ」(35.6%)などの順となっている。

項目がいくつか異なるものも含まれているが、平成 23 年度調査と比較すると、「パソコン」が 17.2 ポイント増加している。(図 3-1)

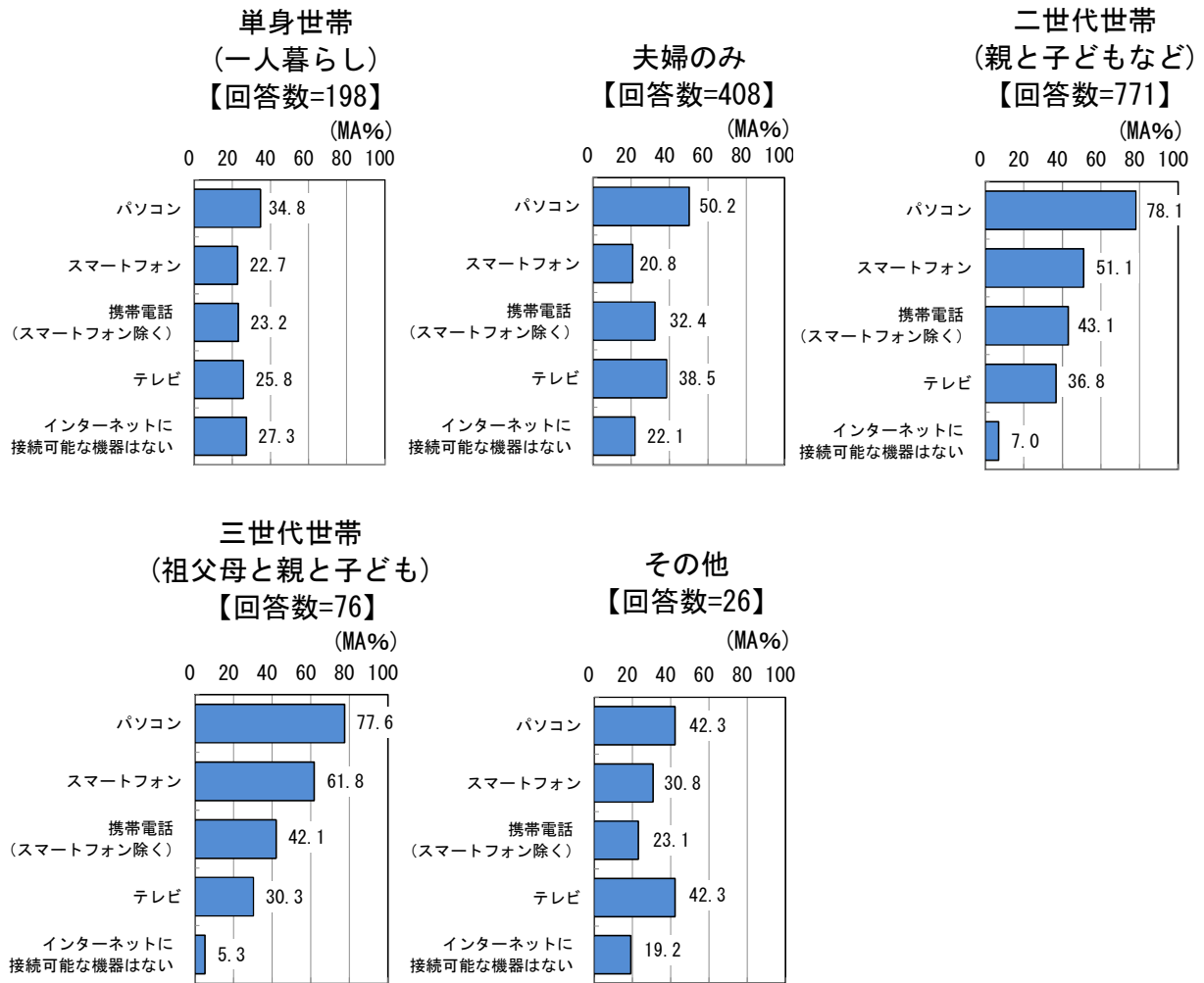
図 3-2 年代別 インターネット接続機器の所有状況【上位 5 項目】（複数回答）



年代別に上位 5 項目をみると、『20 歳代』から『60 歳代』で「パソコン」が最も高くなっており、なかでも『20 歳代』で 86.0%と他の年代に比べ最も高くなっている。

一方、『70 歳以上』では「テレビ」が 38.4%と最も高く、以下「パソコン」(35.5%)、「携帯電話 (スマートフォン除く)」(30.6%) などの順となっている。また、『60 歳代』『70 歳代』では「スマートフォン」がそれぞれ 18.1%、6.5%と最も低くなっている。(図 3-2)

図 3-3 家族構成別 インターネット接続機器の所有状況【上位 5 項目】（複数回答）

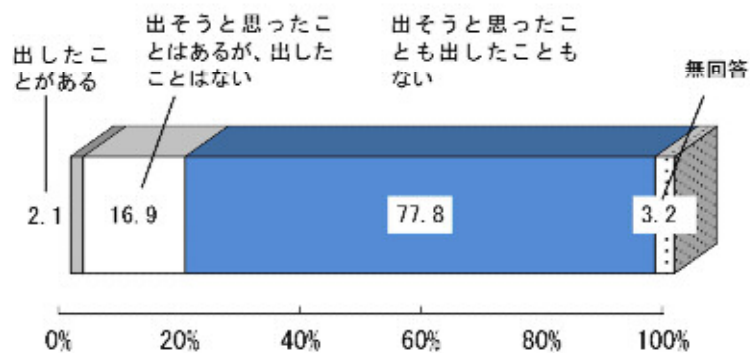


家族構成別に上位 5 項目をみると、いずれの家族構成も「パソコン」が最も高く、なかでも『二世代会世帯（親と子どもなど）』が 78.1% と他の家族構成に比べ最も高くなっている。

また、『単身世帯（一人暮らし）』や『夫婦のみ』では、接続機器の所有にばらつきがある。（図 3-3）

問 19. これまでに、市に対してメール等で意見や要望を出したことがありますか？
(〇は1つだけ)

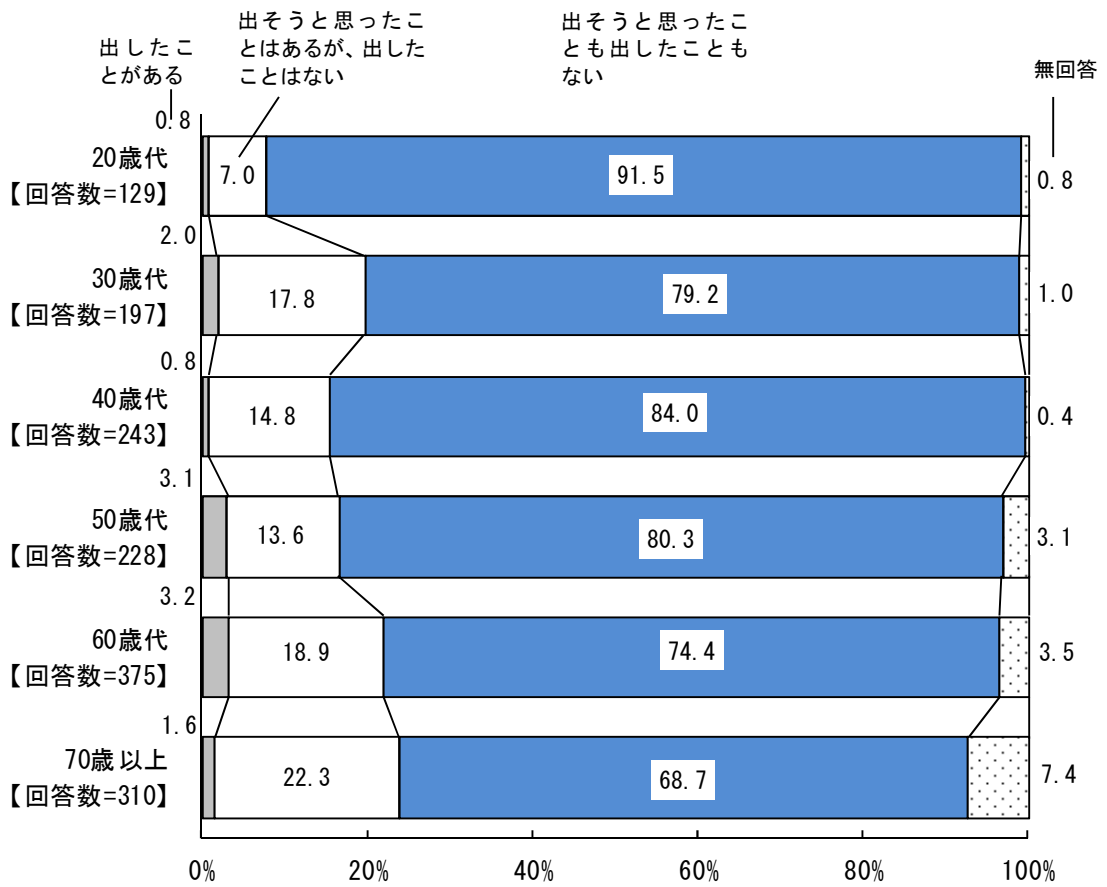
図 3-4 市へメール等での意見・要望提出の有無



【回答数=1,487】

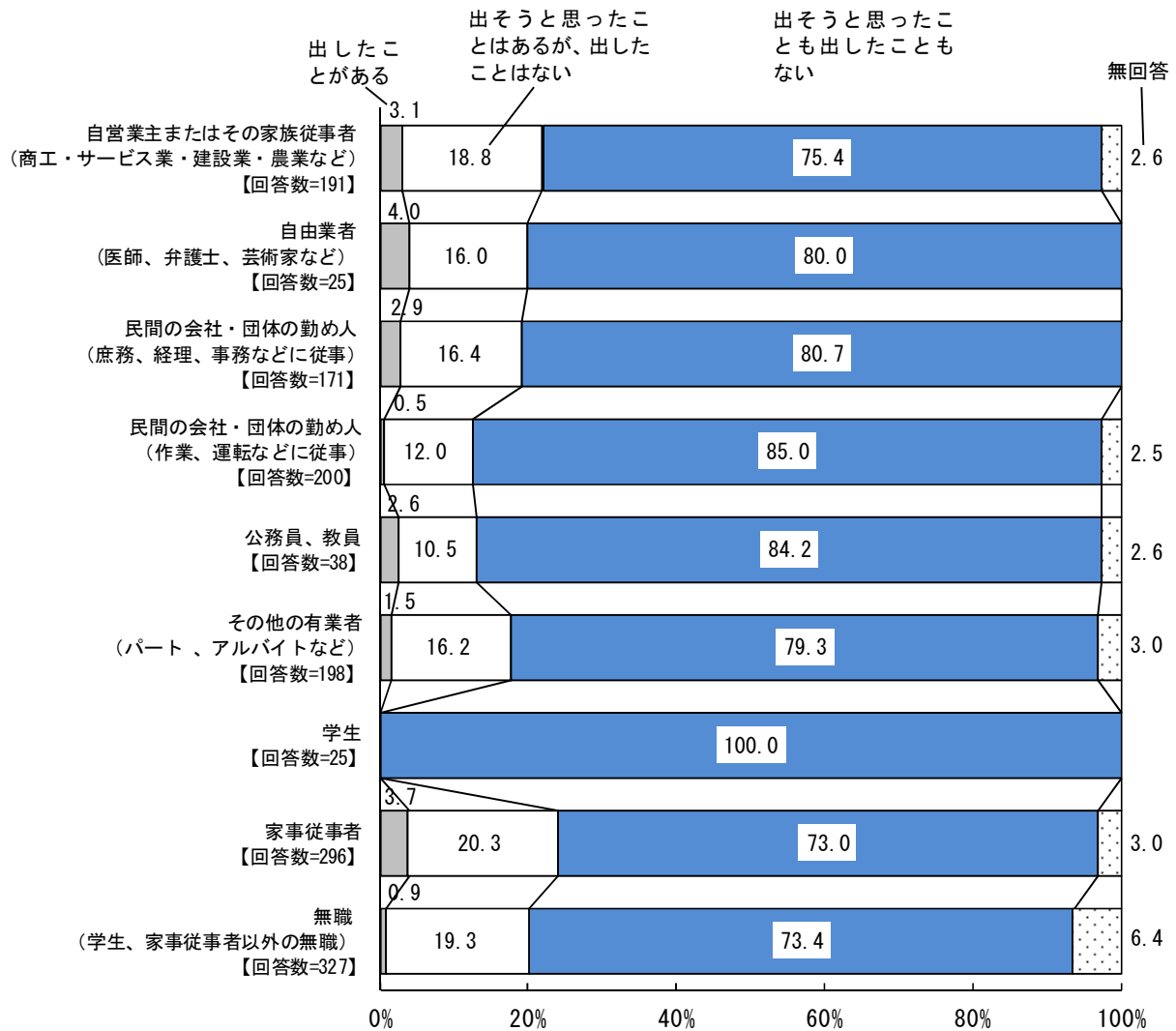
市へメール等での意見・要望提出の有無をたずねた。「出そうと思ったことも出したこともない」が 77.8%と最も高く、次いで「出そうと思ったことはあるが、出したことはない」が 16.9%、「出したことがある」が 2.1%となっている。(図 3-4)

図 3-5 年代別 市へメール等での意見・要望提出の有無



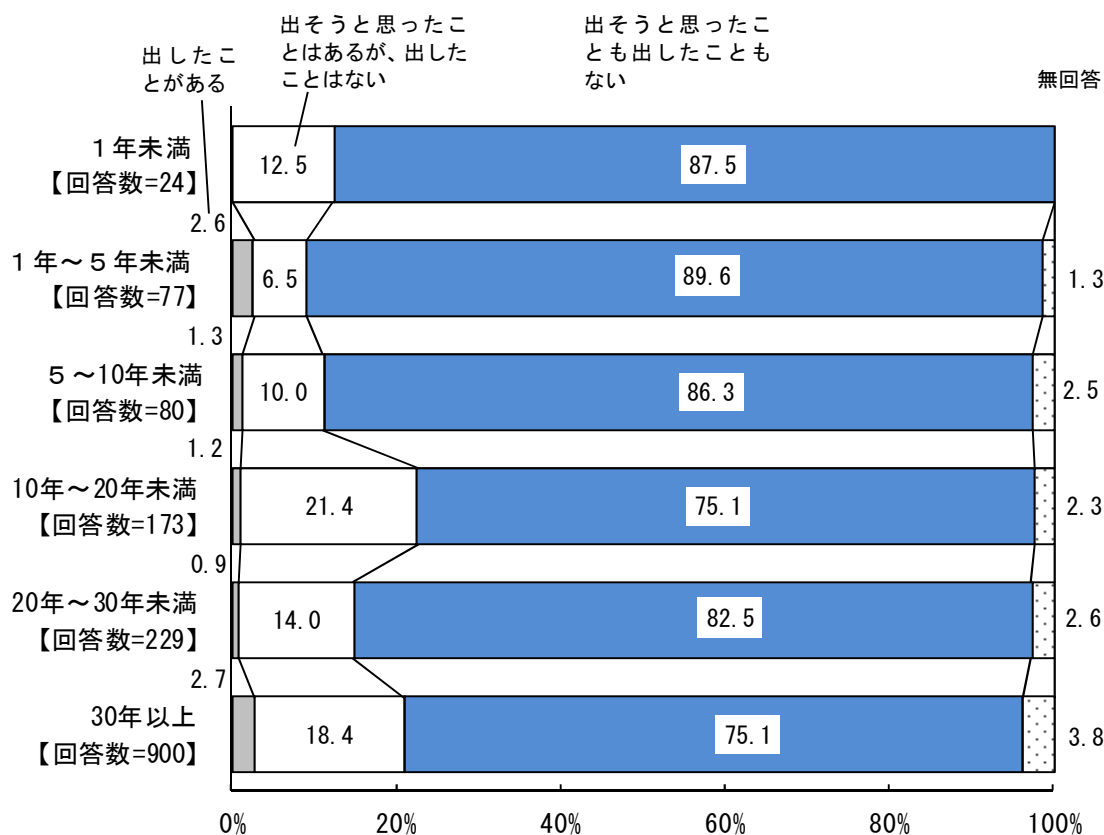
年代別にみると、『20歳代』で「出そうと思ったことも出したこともない」が91.5%と最も高く、『40歳代』以上年代が上がるにつれ、その割合が低くなっている。一方、『60歳代』では「出したことがある」が3.2%と他の年代に比べ最も高くなっている。(図 3-5)

図 3-6 職業別 市へメール等での意見・要望提出の有無



職業別にみると、いずれの職業も「出そうと思ったことも出したこともない」が70%を超えており、『学生』では100%となっている。一方、『家事従事者』では「出そうと思ったことはあるが、出したことはない」が20.3%と他の職業に比べ最も高くなっている。(図 3-6)

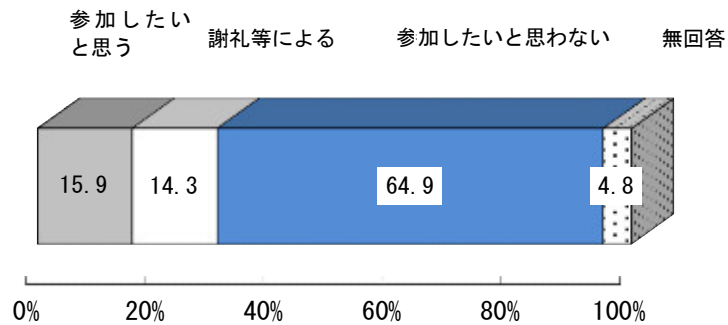
図 3-7 居住年数別 市へメール等での意見・要望提出の有無



居住年数別にみると、『1～5年未満』で「出そうと思ったことも出したこともない」が89.6%と他の居住年数に比べ最も高くなっている。一方、『30年以上』『1年～5年未満』では「出したことがある」がそれぞれ2.7%、2.6%と他の居住年数に比べ高くなっている。(図 3-7)

問 20. 一般にインターネット市政モニター制度とはインターネットを利用し、モニター登録することで意見や要望を出すアンケート調査に参加していただける制度のことです。あなたは、このような制度があれば参加したいと思いますか？（〇は1つだけ）

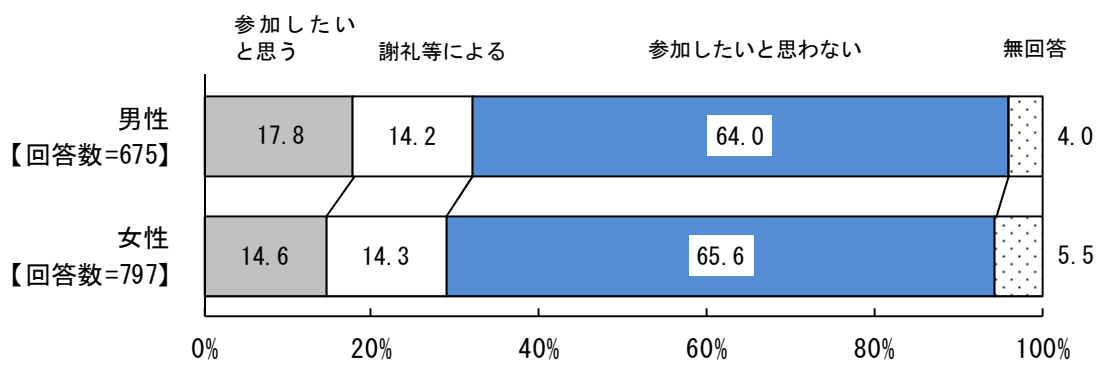
図 3-8 インターネット市政モニター制度への参加意向



【回答数=1,487】

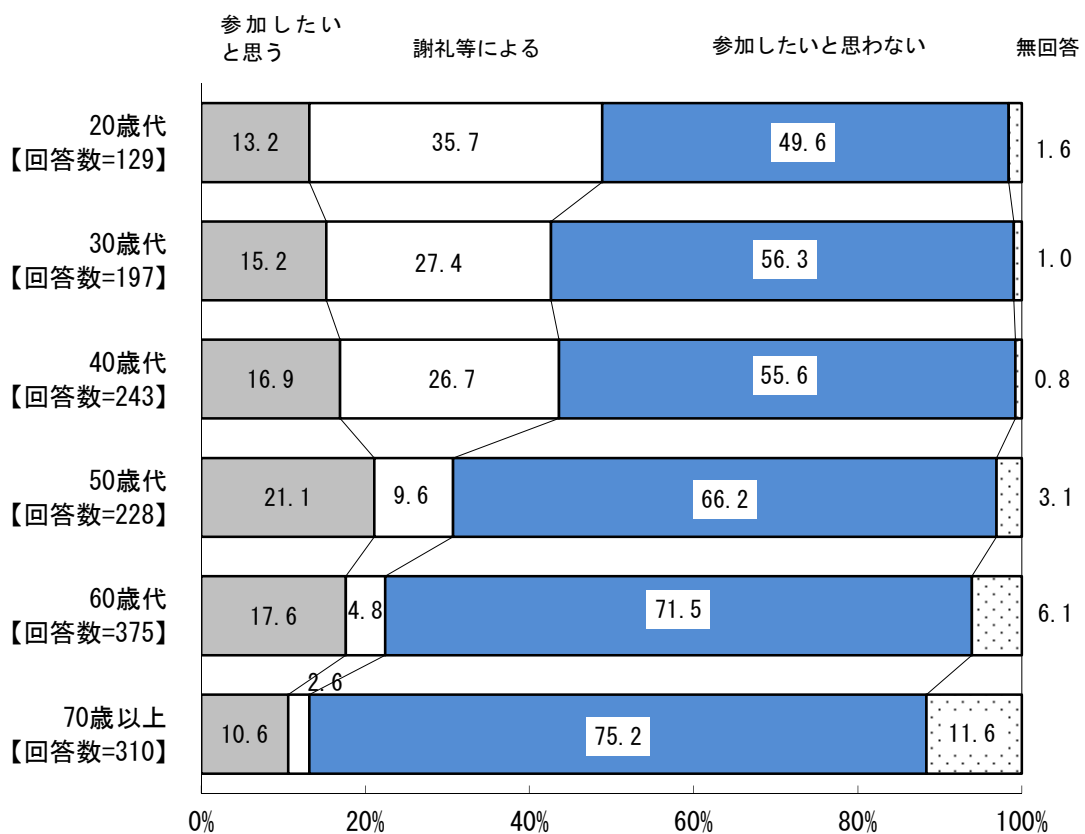
インターネット市政モニター制度への参加意向をたずねた。「参加したいと思わない」が 64.9%と最も高く、次いで「参加したいと思う」が 15.9%、「謝礼等による」が 14.3%となっている。(図 3-8)

図 3-9 性別 インターネット市政モニター制度への参加意向



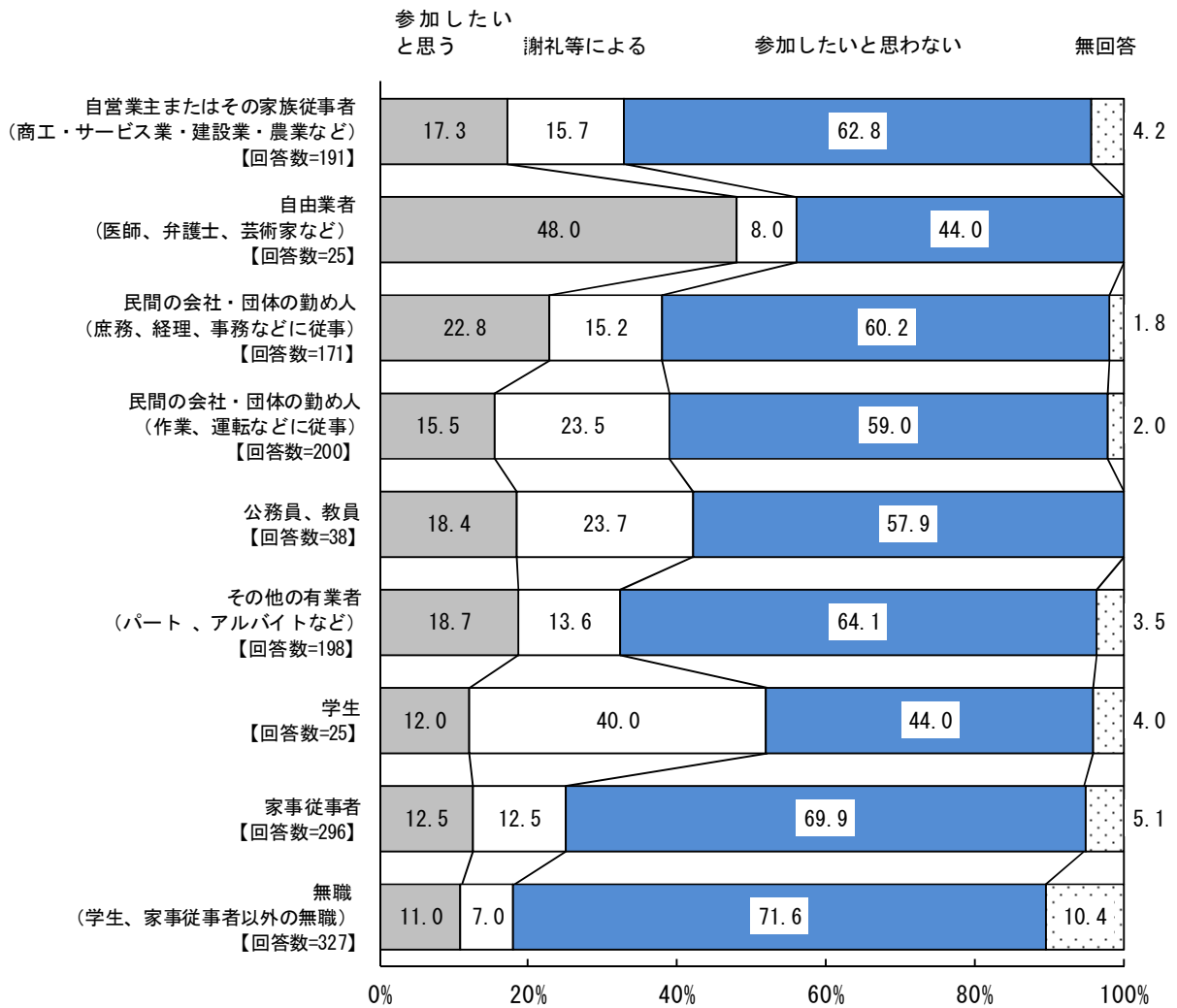
性別にみると、『男性』で「参加したいと思う」が17.8%と『女性』に比べ、3.2ポイント上回っている。一方、「参加したいと思わない」が64.0%となっており、『女性』に比べ1.6ポイント下回っている。(図 3-9)

図 3-10 年代別 インターネット市政モニター制度への参加意向



年代別にみると、『50歳代』で「参加したいと思う」が21.1%と他の年代に比べ最も高くなっている。一方、『20歳代』を除いて「参加したいと思わない」は5割半を超えており、『60歳代』以上で70%を超えている。(図 3-10)

図 3-11 職業別 インターネット市政モニター制度への参加意向

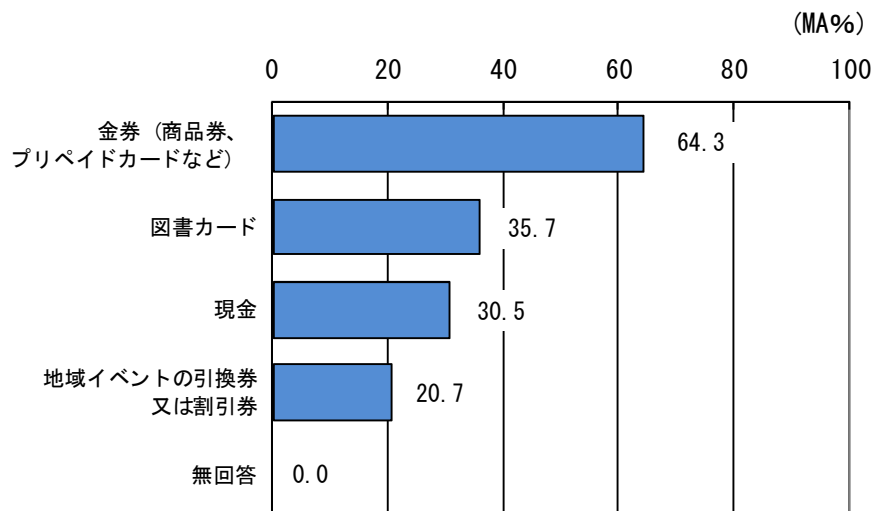


職業別にみると、『自由業者（医師、弁護士、芸術家など）』で「参加したいと思う」が48.0%と突出して高くなっている。また、『学生』では「謝礼等による」が40.0%と他の職業に比べ高くなっている。(図 3-11)

問20で「2. 謝礼等による」を選んだ方におたずねします。

問20-1. 市政モニター制度の謝礼として、何が適切だと思われますか？
(〇はいくつでも)

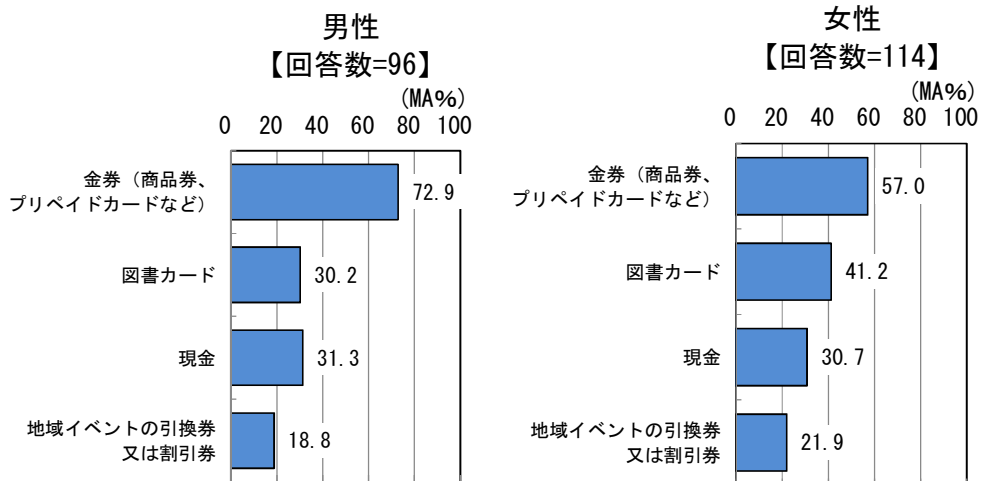
図3-12 インターネット市政モニター制度の希望謝礼(複数回答)



【回答数=213】

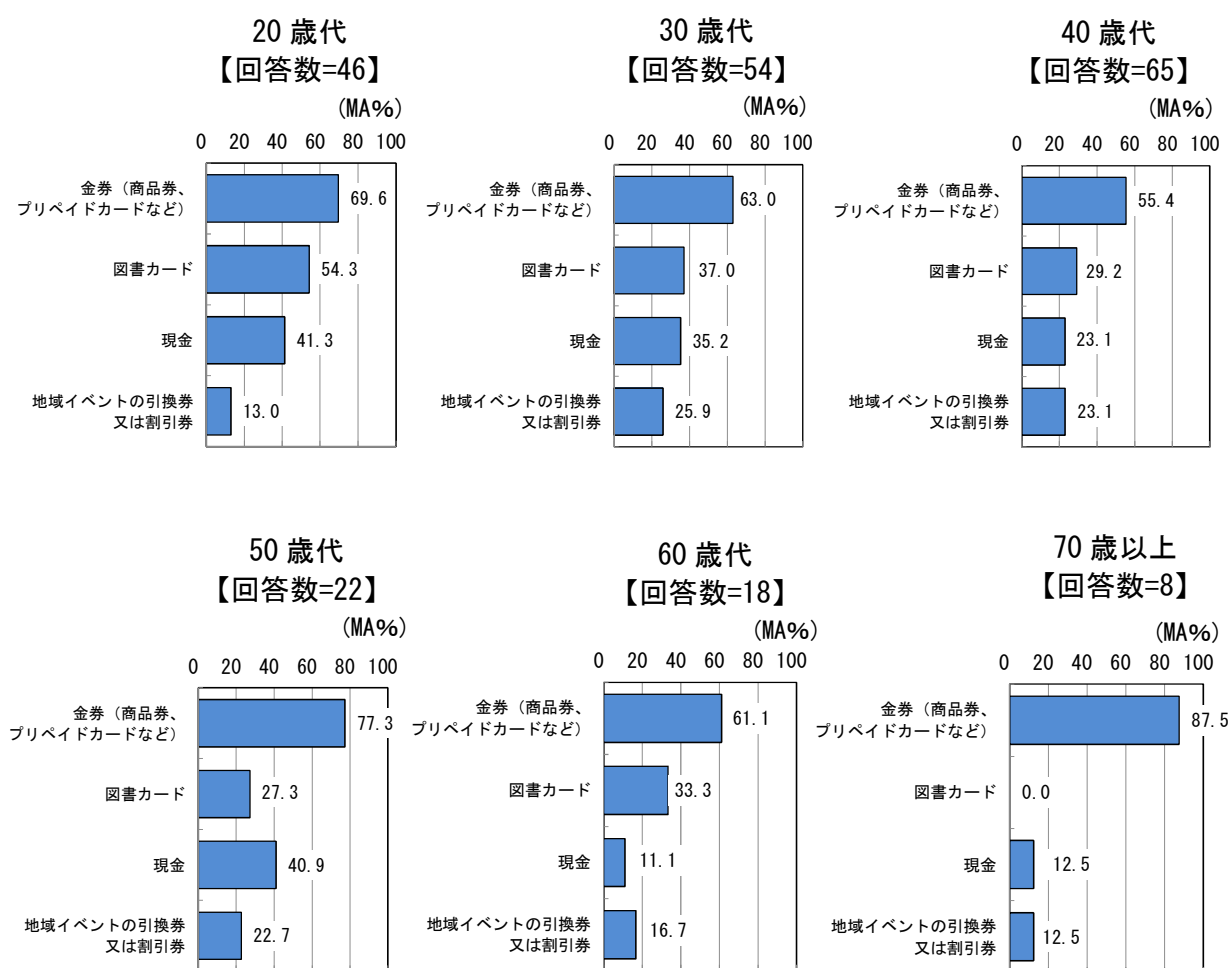
インターネット市政モニター制度の希望謝礼をたずねた。「金券 (商品券、プリペイドカードなど)」が64.3%と最も高く、以下「図書カード」(35.7%)、「現金」(30.5%)、「地域イベントの引換券又は割引券」(20.7%)の順となっている。(図3-12)

図 3-13 性別 インターネット市政モニター制度の希望謝礼【上位 4 項目】（複数回答）



性別に上位 4 項目をみると、『女性』では全体と同じ傾向となっているが、『男性』では「現金」が 31.3% で 2 位となっている。一方、選択肢比較をすると『男性』では「金券（商品券、プリペイドカードなど）」が 72.9% と『女性』の 57.0% を 15.9 ポイント上回っている。（図 3-13）

図 3-14 年代別 インターネット市政モニター制度の希望謝礼【上位 4 項目】（複数回答）

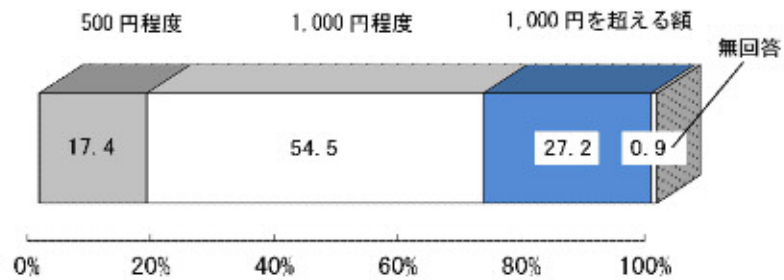


年代別に上位 4 項目をみると、いずれの年代も「金券（商品券、プリペイドカードなど）」が最も高く、なかでも『70 歳以上』は 87.5%と他の年代に比べ最も高くなっている。また、『20 歳代』『30 歳代』『50 歳代』で「現金」が全体（30.5%）に比べ高くなっている。（図 3-14）

問20で「2. 謝礼等による」を選んだ方におたずねします。

問20-2. その謝礼(年間)の金額又は相当品は、どれぐらいを希望しますか？
(〇は1つだけ)

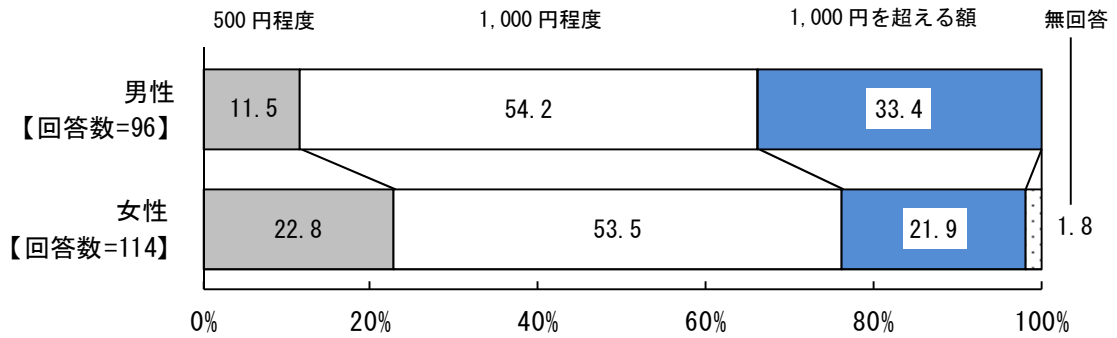
図3-15 インターネット市政モニター制度の年間希望謝礼金額



【回答数=213】

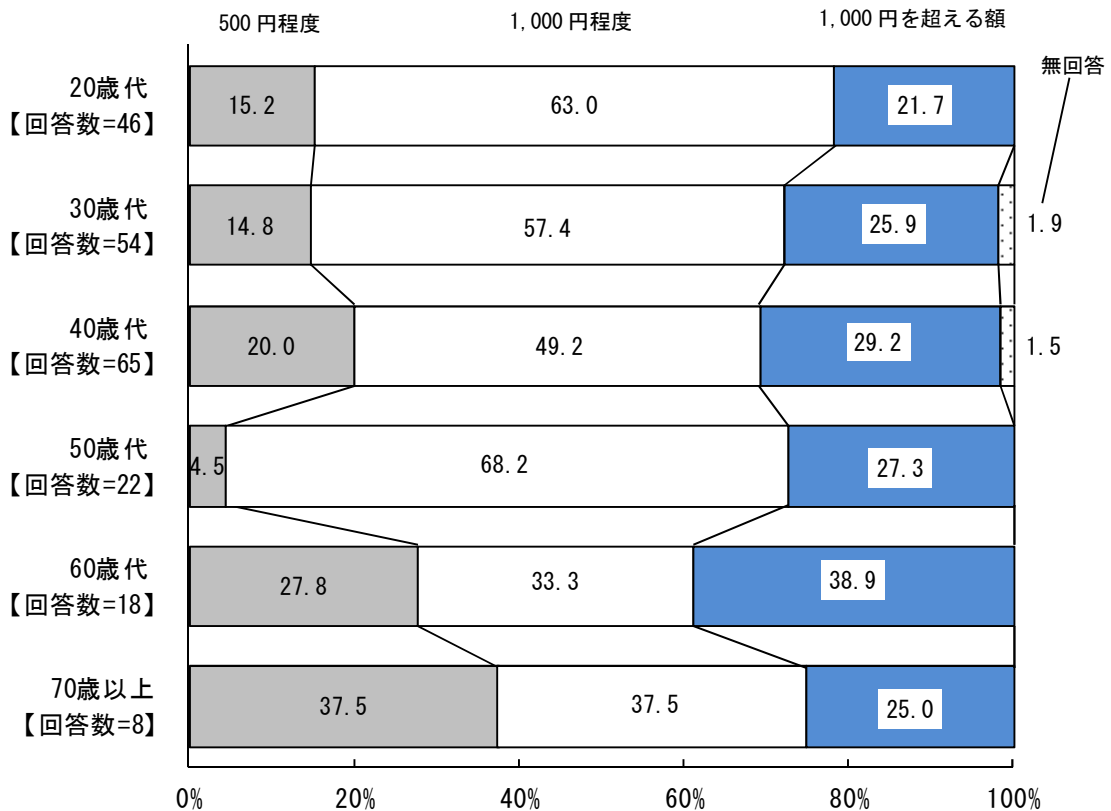
インターネット市政モニター制度の年間希望謝礼金額をたずねた。「1,000円程度」が54.5%と最も高く、次いで「1,000円を超える額」が27.2%、「500円程度」が17.4%となっている。(図3-15)

図 3-16 性別 インターネット市政モニター制度の年間希望謝礼金額



性別にみると、男女とも「1,000円程度」は全体とほぼ同じ割合になっている。一方、『男性』では「1,000円を超える額」が33.4%となっており、『女性』に比べ11.5ポイント上回っている。(図 3-16)

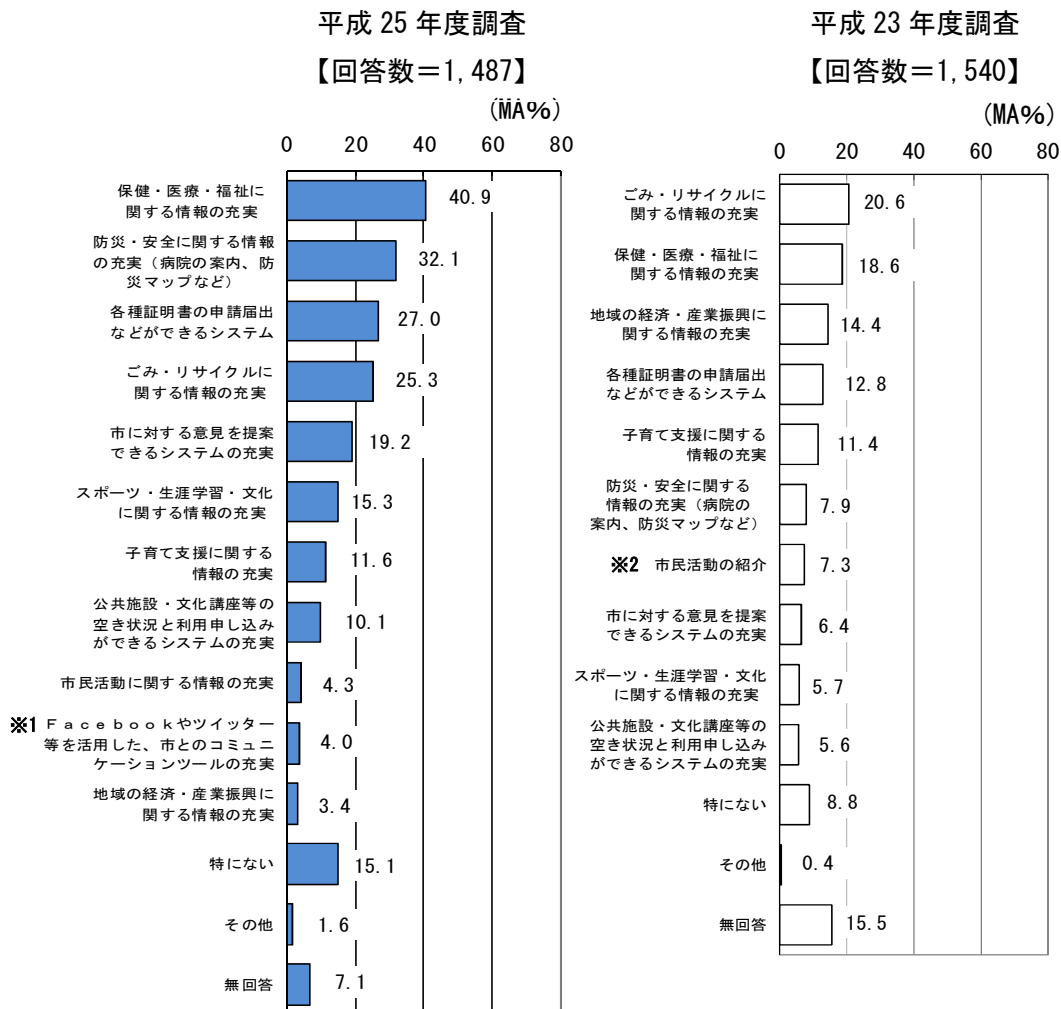
図 3-17 年代別 インターネット市政モニター制度の年間希望謝礼金額



年代別にみると、『50歳代』で「1,000円程度」が68.2%と他の年代に比べ最も高くなっている。一方、『70歳以上』では「500円程度」が37.5%と最も高くなっている他、『60歳代』で「1,000円を超える額」が38.9%と最も高くなっている。(図 3-17)

問 21. あなたは、インターネットを使った市のサービスでどのようなものを希望しますか？（〇は3つまで）

図 3-18 インターネットサービスの希望内容(複数回答)



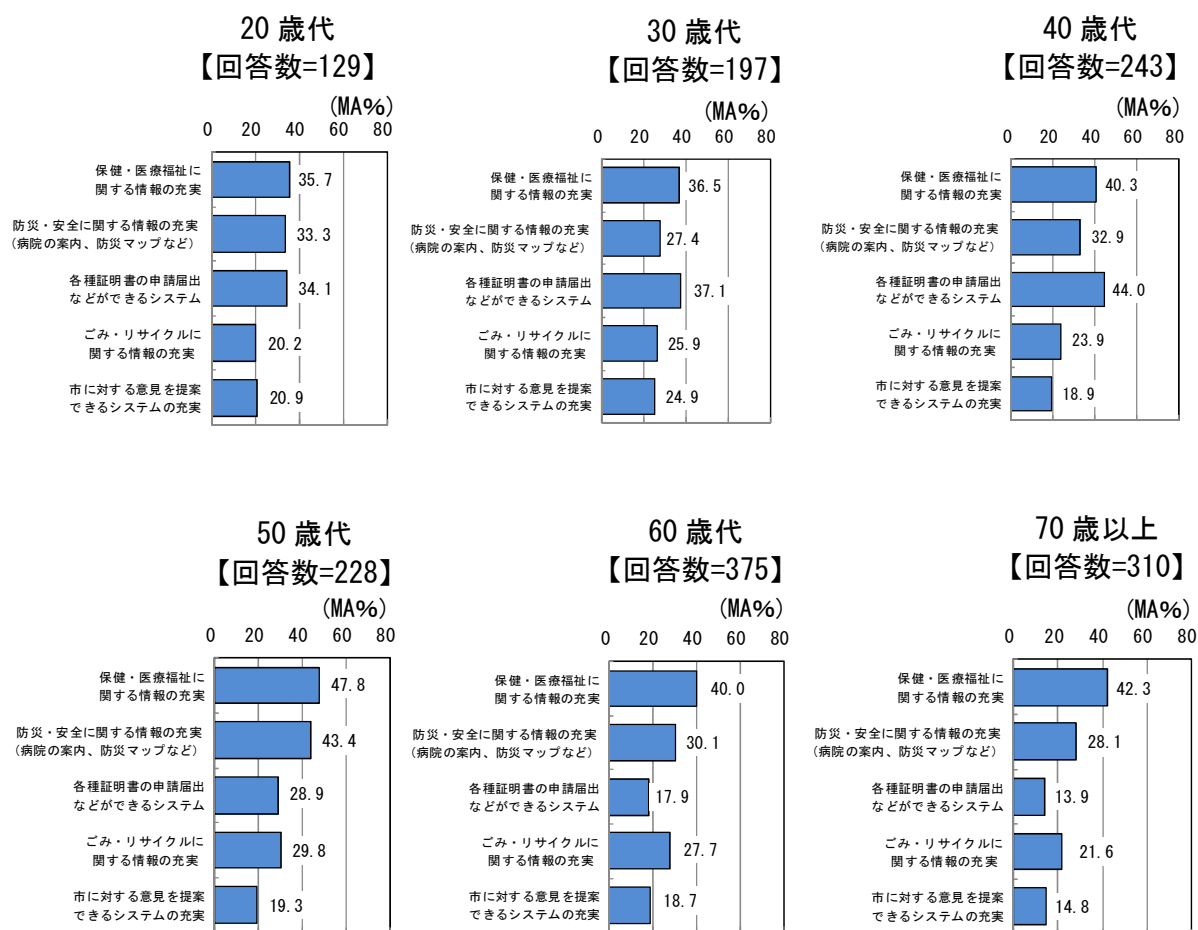
※1 「Facebookやツイッター等を活用した、市とのコミュニケーションツールの充実」は平成 25 年度より調査

※2 「市民活動の紹介」の紹介は平成 25 年度で「市民活動に関する情報の充実」と表現

インターネットサービスの希望内容をたずねた。「保健・医療・福祉に関する情報の充実」が40.9%と最も高く、以下「防災・安全に関する情報の充実（病院の案内、防災マップなど）」(32.1%)、「各種証明書の申請届出などができるシステム」(27.0%)などの順となっている。

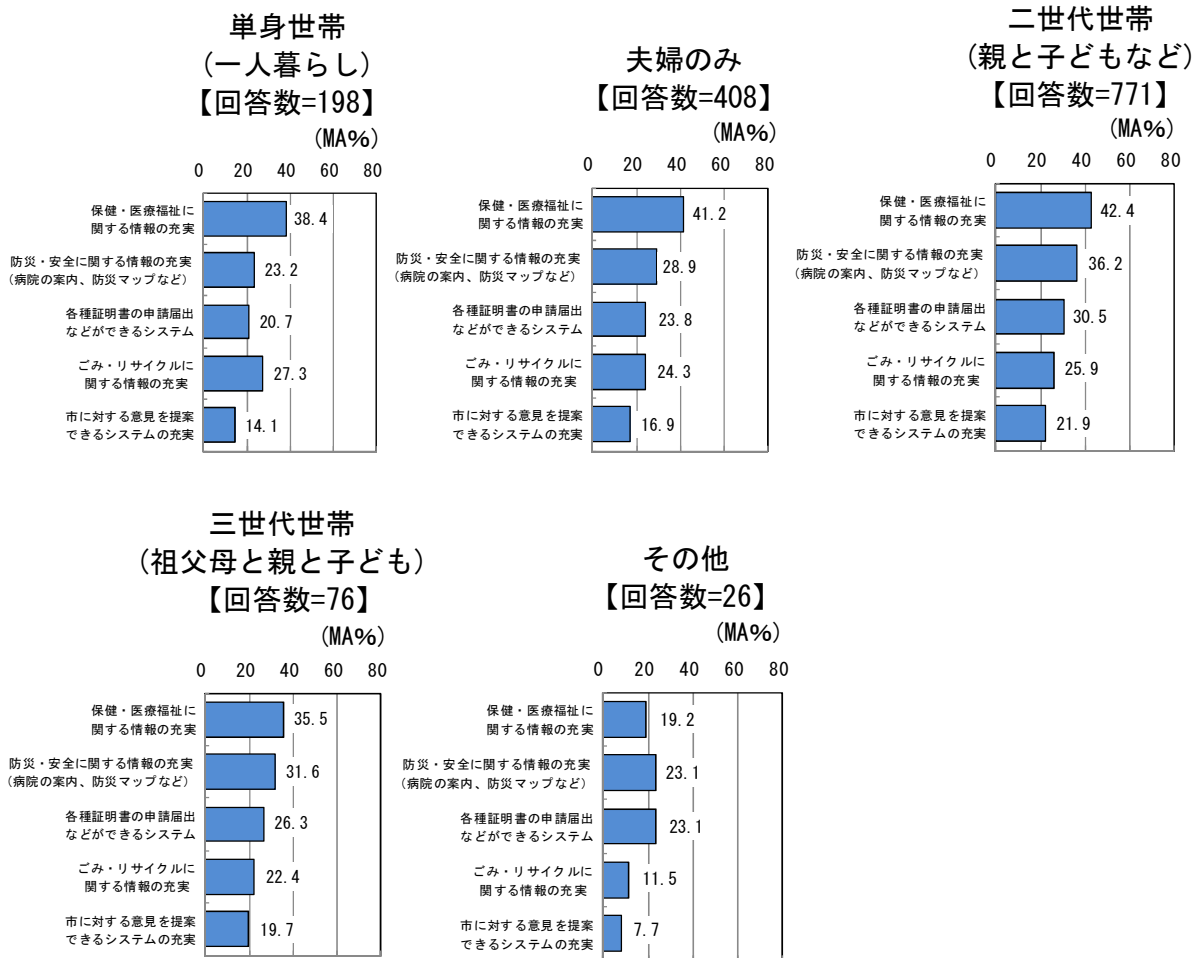
選択項目がいくつか異なるものが含まれているが、平成 23 年度調査と比較すると、本年度調査では、「保健・医療・福祉に関する情報の充実」が1位（平成 23 年度調査では2位）に、逆に平成 23 年度調査で1位の「ごみ・リサイクルに関する情報の充実」が、本年度調査では4位となっている。（図 3-18）

図 3-19 年代別 インターネットサービスの希望内容【上位 5 項目】（複数回答）



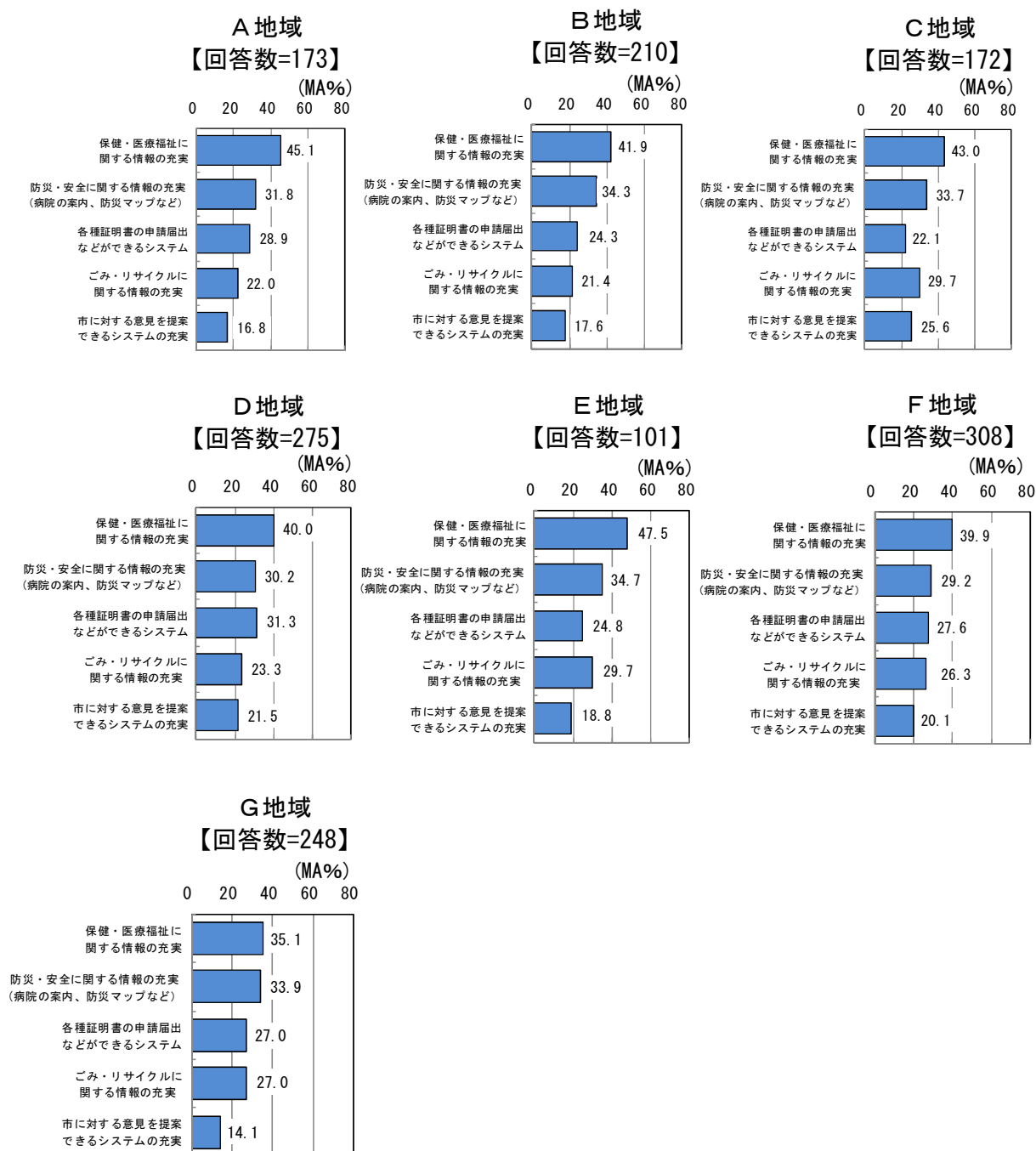
年代別に上位 5 項目をみると、『30 歳代』『40 歳代』を除き、「保健・医療福祉に関する情報の充実」が最も高くなっており、なかでも『50 歳代』で 47.8% と他の年代に比べ最も高くなっている。一方、『30 歳代』『40 歳代』では「各種証明書の申請届出などができるシステム」が最も高くなっている。(図 3-19)

図 3-20 家族構成別 インターネットサービスの希望内容【上位5項目】（複数回答）



家族構成別に上位5項目をみると、『単身世帯（一人暮らし）』を除く家族構成では、ほぼ全体と同様の傾向となっているが、『単身世帯（一人暮らし）』では「ごみ・リサイクルに関する情報の充実」が27.3%で2番目に高くなっている。（図 3-20）

図 3-21 地域別 インターネットサービスの希望内容【上位 5 項目】（複数回答）



地域別に上位 5 項目をみると、『B 地域』『C 地域』『E 地域』で「各種証明書の申請届出などができるシステム」が全体 (27.0%) に比べ低くなっている。また、『D 地域』の「各種証明書の申請届出などができるシステム」が 31.3% で「防災・安全に関する情報の充実 (病院の案内、防災マップなど)」(30.2%) に比べ 1.1 ポイント上回っている。(図 3-21)